

## この本の各国委員会の代表

### ■日本

日中韓3国共通歴史教材委員会

大日方純夫(早稲田大学教授)

笠原十九司(都留文科大学教授)

俵 義文(子どもと教科書全国ネット21・事務局長)

### ■中国

中国共通歴史読本編纂委員会

歩 平(中国社会科学院近代史研究所副所長)

蘇智良(上海師範大学教授)

梁維木(中国社会科学院近代史研究所『抗日戦争研究』主編)

### ■韓国

韓中日共同歴史教材開発特別委員会

徐仲錫(成均館大学教授)

金聖甫(忠北大学教授)

梁美康(アジアの平和と歴史教育連帯・常任共同運営委員長)

## この本の体裁と発行元

- A5判・ソフトカバー
- カラー口絵:8ページ
- 本文:224ページ(予定)

### 【発行元】

日本:高文研

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-1-8

電03-3295-3415 FAX03-3295-3417

中国:中国社会科学文献出版社

韓国:ハンギョレ新聞出版部



▲04年10月末、中国・馬鞍山での第9回国際会議

5月下旬、  
3国で同時発刊

「歴史認識の共有」をめざして、  
日・中・韓の3国が共同で作った  
歴史の本です。

日本・中国・韓国=3国共同編集

# 未来をひらく歴史

## 東アジア3国の近現代史

日本の近現代史は、韓国や中国とのかかわりを抜きにしては語れません。韓国や中国にとっても、日本との関係を抜きにした歴史叙述は成立しません。

その事実をふまえ、自国中心の見方から離陸して、東アジアという大きな視野でこの地域の歴史をとらえようと試みたのがこの本です。

いま、「東アジア共同体」という構想が提起されています。その構想を実現してゆく上で最初の、そして最大の課題となるのが「歴史認識の共有」です。この本がめざしているのが、その「歴史認識の共有」にほかなりません。

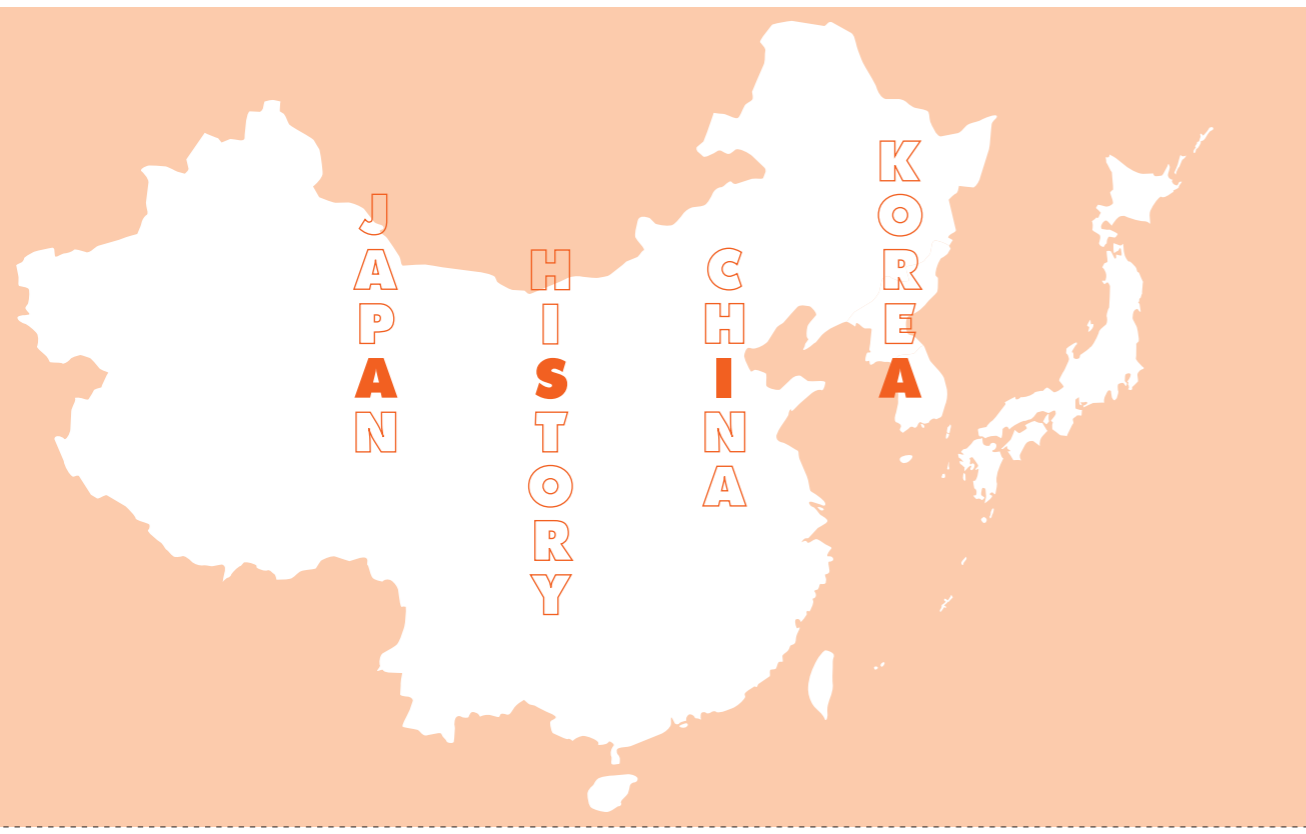
もちろんそれは、きわめて困難な事業です。3国にはそれぞれの立場があり、一歩、加害と被害の歴史に踏み込めば、見方の衝突は避けられません。

その衝突を、10回の合同編集会議、5次にわたる原稿修正によって乗り越え、1冊の歴史書としてまとめ上げたのがこの本です。

この本は今年5月、3国同時発刊、中学生から一般の市民のみなさんに読まれることをめざしています。史上はじめてのこの本が、中・高生を含め広く読まれることを心から願っています。



▲今年1月28日の共同記者会見。左2人目から蘇智良、歩平、大日方純夫、笠原十九司、梁美康、金聖甫、1人おいて俵義文の各国委員(衆議院第一議員会館)



貴店名 (ご担当者名)	注文 冊	高文研 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-1-8 Tel.03-3295-3415 Fax.03-3295-3417 日本・中国・韓国=3国共同編集 <b>未来をひらく歴史</b> 編著=日中韓3国共通歴史教材委員会 ISBN4-87498-341-3 C0021	学校名 予価:1,575円 (本体1,500円+税)
----------------	---------	---	----------------------------------

編著=日中韓3国共通歴史教材委員会

発行=高文研

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-1-8  
Tel.03-3295-3415 Fax.03-3295-3417